

情報元：南海日日新聞社
日付：令和2年4月10日

「学校に慣れ、勉強頑張る」

沖永良部支援教室再開

県立大島養護学校

沖永良部高の施設活用

【沖永良部総局】龍郷町の県立大島養護学校（芝原一郎校長、児童生徒115人）は7日、2016年度から閉鎖していた高等部の教室唯一の新生となる

沖永良部支援教室を再開した。同教室は県立沖永良部高校（室屋洋一校長、生徒253人）の施設を活用する。同

式に出席して学ぶ意欲を新たにしたい。移動日をはさみ、9日から沖永良部島の高校生活をスタートさせた。



再開した大島養護学校高等部の沖永良部支援教室。9日、沖永良部高校

つた女子生徒（15）は和泊町。7日、大島養護学校であった入学式に出席して学ぶ意欲を新たにしたい。移動日をはさみ、9日から沖永良部島の高校生活をスタートさせた。

女子生徒は9日、授業で担任教諭らと4月の目標などについて話し合い、「将来の夢は動物の飼育員。早く学校に慣れ、数学や国語などの勉強を頑張りたい」と語っていた。

沖永良部高校の室屋校長は「特別支援教室があることで生徒が共生社会を学ぶ機会が増える。温かい気持ちで女子生徒を受け入れた。本人の成長を支えるため、大島養護学校と連携していく」と同教室の再開を歓迎した。

大島養護学校側は

「女子生徒には大島養護学校、沖永良部高校の両校の教員や生徒と交流し、学びを深めてほしい」と述べた。

大島養護学校高等部（生徒61人）の支援教室は本年度、喜界（同5人）、徳之島（同9人）、沖永良部（同1人）の3教室がある。